

学び続ける共同体の活動指針（略称ガイドライン）

わたしたちは、次のような原則とビジョンを共有し、自分らしく生きるため、
そして、よりよい社会を創るために学び、行動します。

人間について

- 01 すべての人は、世界にたった一人しかいないかけがえのない存在であり、独自の人格を持った個人として尊重される。＜個人の尊重＞
- 02 すべての人は、生まれながらに“善く生きよう”とする資質を持っている。それを発達させるために学び続ける。＜学び続ける存在＞

学びについて

- 03 学びとは、真似る、遊ぶ、探究するなど、学ぶ人の主体的で能動的な活動である。学ぶ人は、発見する楽しさや創造する喜びを感じながら、生きるために必要なことながらを学ぶ。＜主体的で能動的な学び＞
- 04 学びの場(学校)は、学ぶ人たちが安心して自分を表現し、好奇心や探究心を発展させることのできる場であり、自立する力や協働する力、創造する力が育まれる場である。＜生きる力を育む場＞
- 05 学びの場(学校)は、学ぶ人と学びを支援する人が共に学び合う場である。そして、共に学校を支える一員として、学校の運営に民主的に参加する権利と責任がある。＜学びの共同体＞
- 06 学びの場(学校)では、適切な学習材をもとに個別の学習やグループでの学習が進められるが、対話や話し合い、体験を通して学ぶことが重視される。＜対話と体験の重視＞
- 07 学びを支援する人は、あるがままの人間として学ぶ人とかかわり、その人を一人の人間として尊重し、その行動や態度を共感的に理解するよう努める。＜真正性と共感的理解＞

未来の社会について

08 わたしたちは、人生を自分自身で決め、自分らしく生きることを願っている。そのために、すべての人が自由に考え行動し、互いの自由を認め合う社会を創っていく。
〈自分らしく生きることのできる社会〉

09 わたしたちは、生活の便利さや物質的な豊かさだけでなく、人と人との信頼関係が大切だと考えている。そのために、人びとが共感でつながり、信頼価値が増幅するような社会的活動をしていく。〈信頼によって結ばれる社会〉

10 わたしたちは、人間と自然が共生する“持続可能な社会”を願っている。そのために、自然や多様な文化を尊重し、現在および未来に生きるすべてのものを大切にす
る経済活動を行なっていく。〈共生的で持続可能な社会〉

11 わたしたちは、人びとの多様な価値観や生き方が認められ、少数の人たちの意見も尊重される民主的で平和な社会を願っている。そのために、あらゆる対立を脅しや暴力によってではなく、対話や話し合いを通して平和的に解決していく。
〈民主的で平和な社会〉